

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	しんがくどう宮崎		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者)	23	(回答数) 23
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性があり、保護者や児童、訪問施設に寄り添った支援を行うことができる事	訪問支援員を兼務してもらうスタッフをには、高い専門性をも とめている。	スタッフの研修の機会を確保し、十分な専門性が維持できる ように配慮していく
2	訪問後の細かなサポートを行うことができおり、保護者の安心感を得ることが出来ている	保護者との信頼関係を気づけるように、担当者会議などにも訪問支援専門員に出席してもらい、保護者との関係性の構築を行っている	担当を1人体制をとっているが、保護者によっては複数のスタッフが対応出来る様に調整を行う
3	訪問施設との連携をうまく取れている	訪問を実施する前に訪問先との協議を十分に行っている	継続して、訪問先との連携を継続していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との情報共有(緊急時の対応)について	しんがくどうのHPやSNSの周知が不十分	メールでの告知やHP、SNSについて知ってもらう機会を増やしていく
2	保護者との連絡手段	就労されている保護者等は、昼休み時間や就労後の時間に連絡をかけるようにしているが、調整が難しい事もある 児童が帰宅した後になると保護者も話しくい事が考えられる	通常、電話を活用しているが、場合によってはメールを活用して報告等を行う事も検討していく。また毎回メールという事ではなく、電話との併用を行っていく
3			